

ふれあいサイエンス広場 in 多治見を開催

岐阜高専は、1月15日（日）、産学連携協定を締結している東濃信用金庫との産学連携事業「ふれあいサイエンス広場 in 多治見」を東濃信用金庫本店（多治見市）で開催した。

このイベントの開催は、同校がサテライトキャンパスを開校して推進しているアウトリーチ活動の一環で、学生が「ものづくりリテラシー教育実習」及び「専攻科科学技術リテラシー教育実習」により修得したことを、工作教室及び体験ブース等で実演・説明することにより、学生の資質向上と地域における科学技術の啓発を目的としたものである。

このイベントには、小中学生の親子等160名余りの来場者があり、太陽電池で動くソーラーブランコ作り、家具や壁紙をコーディネートする自分だけの部屋作り、間伐材を使用した3×3×3のブロックパズル作り、橋の製作&強度実験などの工作教室及び避難所模型、地雷探査ロボット・レスキューロボットの操作などの展示・体験を行い、来場者に科学についての理解を深める機会を提供した。



学生から地雷探査ロボットの操作説明聞いている子ども達